



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

暑い、夏

記録的な猛暑は、たまであるはずなのに、毎年更新されるし当たり前の記録となっていく感じがします。麦わら帽子で網もって炎天下を走っている光景は、今は危険な行為になります。

暑さを忘れる・Welcomeボード



中央花壇の新しい看板が設置されるのを楽しみにしています。今回は広重の東海道五十三次の小田原を变身させてます。何が盛り込まれるかを見つけるのが楽しみ。製作者に尋ねるとただの模写で終わっている時も・・・と。



台湾ウチワヤンマ



ウチワヤンマ

8/1の昆虫ウォッチングの時はウチワヤンマとして紹介していましたが、この日は台湾ウチワヤンマと置き換わっていました。ウチワヤンマより少し黒っぽく感じます。後尾のふくらんだ部分、ウチワヤンマは黄色が見られ、台湾ウチワヤンマ真っ黒です近づいてきたギンヤンマやオオヤマトンボとテリトリー争いをしていました。。



ニイニゼミ



アラゼミ



クマゼミ

今よく鳴いているセミ

日中鳴いているのはこの三種、よく鳴くのが見つけにくい。特にニイニゼミ

クマゼミは日本で見られるセミの中では大型、鳴き声はとびっきり大きいです。クマゼミは鳴いて周りに同種がいるかを確認するようです。いないときは飛び立ち、いるときは競うように泣きます。



昨シーズンもたくさん見られた木、上の写真は最初♀かと思いましたが。小さいなりの角があります。大きさは幼虫時代にどれだけ大きくなるかによるようです。下の写真は樹の下にあった死骸、カラスによるものだと思います

夏場の彩の定番として庭木などの利用も多い樹です。花期が長い百日紅の名もあります。白は改良種「まねね」花を詳しく見てください。右の写真は二輪二輪です。



サルズベリ (百日紅)





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

夏休みだけど 暑い夏、プールにあるにぎやかさはいいなと思います。コロナ過の感染者は7回目の最大ピークをむかえていて手放しでは、喜ばない状況です。ひとり一人ができる取り組みを進めましょう。学習をしましたから。

今回は、7/24に行った昆虫ウォッチングで出会った虫たち（一部）を追跡してみました



アオバハゴロモ



アミガサハゴロモ



バッコウハゴロモ



①



②

公園のハゴロモそろいぶみ

幼虫・成虫と認識し始めて3日目、いまだに℃の幼虫がどの成虫になるか不確かな状態です。①②は成長の段階かもしれませんが、飼育すればはつきりするのですが、白いハゴロモが家の中に飛びそうのためらっています。



コガネムシ



カナブン



ハナムグリ

コガネムシの仲間

けっこう混同されています。大きく3種に分類されます。その見分け方に前翅の間の三角の形状がよく使われます。コガネムシは正三角形または二等辺三角形でカナブンは直線的でハナムグリは丸みがあります。慣れてくると動き、いる場所などで全体の雰囲気の違いをすぐに感じることができます。よく似た甲虫として糞虫などがいますがコガネムシとは少し離れた分類になります。



シオカラトンボ オス↑ メス↓



イトトンボ
川原池ン周りを注視すると見えてきます。名前の通り細いので見逃します。複数種見られます。観察会の時見られたキイトンボを探したのですが出会えませんでした



クロイトンボ



アオモンイトンボ



オオシオカラトンボ オス↑ メス↓





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

すごい雨でした

19日の雨は本当にすごかったです。午前中の雨は家の近くの水路の様子を一変しました。こんな初めてのこのような増水で不安に感じました。警報が出て避難レベルが上がるのも当然だと思ってました。いったん振りが弱まり、公園に入ったのですが、また雨量が増えました。はけのない水が園路にあふれていました。



① 自転車置き場から見た様子、ロクハ荘・駐車場からの水が川のようになって②の睡蓮の池に集まっていきます。



②



③

川原池のヤナギも水の中に、雨の量が写った写真

←ハゼの仲間

河川で産卵し、孵化した稚魚は琵琶湖に下り夏場に河川に戻ってくる。水さえあれば、垂直な場所でも上ってくる。私たちはゴリ（五里）と呼んでました。のちにイサザ・ウキゴリ、ヨシノボリなどハゼの仲間が混在していることがわかりました。種名をはっきりさせたいこともあります。池の独立した環境で繁殖しているのか、琵琶湖水系の中で生きているかということに興味があります。増水時にはつながるしそこを水路に遡上する力はあるとみています。



ロクハツアー・真夏の夜7/16→

このプログラムを初めて毎年この時期にセミの羽化を見えています。何度見ても神秘的で生命の力を感じます。長く幼虫として地中で生活し、この日を迎えるのです。セミが鳴いているところであれば、街中でも観察できます。おすすめです。カブトの登場はおまけです





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

梅雨に戻ったような ロクハ公園の雨水がたまる川原池、冬以降湯水状態でした。梅雨にいったん満水になるだろうと思っていたら梅雨明けしどうなることかと思ってましたが、やっと満水になり排水溝から超えた分が出て行ってます



今、満水になりたまりすぎると階段のテラスの一番下は水につかかります。こんな時は、排水溝から水が出て行っている状況です。普段は琵琶湖とのかかわりは皆無ですが、この時は水の流れてつながります。私の見立てではこの時を使って遡上している魚がいるのではと思っています。

草津市内の河川は農業用水との関連で、琵琶湖からくみ上げられている水が土地をうるおし、再度琵琶湖に流れ込むところが多く見られます。琵琶湖の水とともに上流へ運ばれてきたものもいると思います。そういった環境と雨水だけしか入らない池との比較はすごく興味がわきます。



↑ ヤブガラシ

夏の雑木林の定番、この写真はカブトムシ観察小屋の屋根を覆いつくすぐらいに繁茂している様子です。次から次へと花をつけ結実していきます。これが秋まで続いていくので「藪を枯らす」の名前をもらっています。朝早い時間、曇り空の午前中には写真のような雄しべを観察できます。蜜の量が豊富なのか、結構いろんな虫が集まります。スズメバチは吸蜜と狩りをこの花の上で行います。



キリギリス 鳴き始めています。オスだったので鳴いてくれるかと待っていましたがだめでした



キボシカミキリ イヌビワの葉っぱの上でカッコよくとまてました。何となく飛ぶかと期待しましたが



アミガサハゴロモ

しばらく下のような幼虫の姿を追いかけていましたが、成虫を確認するようになりました。成虫の様子から編み笠はどうかと思います。幼虫の時期の形態か色合いでしょうか



トリバガ 鳥のような翅をもっています。体にたくさんのトゲがあります。動きにいきょうするだろうな





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

毎週ちがう天候 異常なまでの高い気温の毎日がつづき記録の更新だらけでどうなるかと思いきや
 今度は、バケツをひっくり返したような雨

感嘆符！！が出る景色 予想して探すことを公園を訪れるたびにしています。でもほとんどが予想に反するもの
 中にはビッグニュースがあり、この日は色々出ました。



ニイニゼミの抜け殻に

今、ニイニゼミが羽化をしています。真夏までじわじわと出てきます。その様子をみています。その抜け殻も命のもとになっているようです。ダンゴムシが来ていました。確実に食べているようです。

コウガイヒルがあるいて？います

ヒルは苦手です。私は農村部の生まれでしたが、田んぼの中のヒルは数が減っている時期で、裸足で入ることなくなっていく時期です。親の、知らずのうちに吸われている体験をよく聞かれました。この公園はヤマヒルにであいませぬ。安心して観察活動をしています



ムカデだ！

写真を撮っていたら、知らぬ間にムカデが出現、びっくりしました。でもピタッと止まりました。何かをくわえています。小さなカタツムリでした。

暴走する幼虫

写真ではわかりませんが、この幼虫歩き回っているのです。おそらくアリに襲われているのではと思います。ふり切ればいいのですがしっかりアリが乗っていました。それよりもこの幼虫、何の幼虫が気になります。





ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamilyロクハ公園HP www.park-698.net/ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

6/28梅雨明け？

どうなることかと思っていた梅雨明け報道が実際にされました。ヒューと思います。というかこの先の不安が。セミたちは梅雨明けに出てきていました。せかされて出て来るのでしょうか



額アジサイの花の上で

季節に合った花唇があり、時期になるとその花の様子に心が動きます。テレビのロケでハナショウブが終わるとアジサイだなと思います。近くの守山市には、アジサイが多く植えられた芦刈園があります。公園の中にもところどころ植わっています。額アジサイと呼ばれるものは虫がたくさん来ます。この時は、ヨツスジハナカミキリが2匹も見られました。花をなめて回っているのか、かじっているのかまいわかりません。でもハナカミキリの名前に合った行動です。



ハラビロカマキリ

アジサイの花の近くにはクモやカマキリの姿も見られます。鼻に集まってくる虫を捕食するためです。最近はこのおしりをあげたハラビロカマキリの姿をよく見かけます。幼虫の間は翅がないので葉っぱ間での移動はジャンプでいく場合があり、その場に出くわすと感激します。



ヤブガラシの花

ヤブガラシがどんどんはびこっていきます。藪を枯らしてしまうほどの勢いのある草です。廃屋を覆いつくしているイメージがあります。で、その花がこれ、ピンクとオレンジが綺麗です。この色オレンジは開花直後、でピンク色に代わります。写真ではおしべがありませんが、早朝見るものではしっかり見られます。この花は夏の虫が多く集まります。秋まで

樹液に集まる虫

樹から出て来る樹液は虫たちの大好物、日中みられる光景はおとなしいものですが、それでもおいしい場所をめぐる攻防があります。この日見られたのは3か所、②はカナブン2匹が体を張っての攻防、③のはほほんとして樹液を吸うクワガタに威嚇するルリタテハです。



ロクハの自然.COM

ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily

ロクハ公園HP www.park-698.net/

ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

6/22結構な雨量

前日からの雨は川原池の水量を10cmぐらいい深くて良かったです。ジャブジャブ小川の飛び石の池も雨水だけで満タンになってました。この場所の濁水で、カワセミの姿がなくなりました。カワセミ、Come Back!



そくそくキノコ

週末にキノコウォッチングを開催するのにキノコは間に合うかと気にしてましたが、この二日の雨は一気にキノコを育てています。ガイドをしてくださる先生によると、キノコの細胞の数は育ち初めから最後までかわらないそうです。水でふやけているみたいなのだそうです。



ネジバナ

夏至のころあたりの草の丈が短いばしょで見られます。芝生の中でぽつぽつと立っています。花が咲きだすとすぐ目立ちますが、直前までに見つけるのはすごく難しいです。ひょろっと緑の棒がたっています。



ニガナの花の怪

苦い菜でニガナ、今けっこうたくさん咲いています。草刈りがされてそれから花茎を伸ばして今になるので目立ちます。開花直前・開花直後の作業だとこの光景は見られなかったと思います。名前を調べるのに黄色い花の6枚、草、つる無し等調べたどり着いたのですが、花びらの数の違いで違う種になっています。この日撮影したものは5枚から7枚・・・悩みます。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

6/14梅雨入り

関西での梅雨入りが発表され、それらしい天候でした。梅雨の時期に雨が多くそんな環境を知って生きている動植物です。雨はないと困るのですが、度を越えた天候にならないようにと思います



カタツムリが歩いた後



カタツムリ

梅雨の雨の日はカタツムリが似合います。いろんなところで見かけました。特徴がわかるものを並べてみました。カタツムリは動きが遅く、飛べないので地域独特のカタツムリが出てくるそうです。日本のカタツムリを集めると種類が多くなるようです。殻の模様、体の模様などを種類の違いとしたらこれだけでも5種類あります・この中にロクハの固有種がいるという可能性もあります。



ホタルガ

もう虫は飛んでいるのでしょうか。この蛾が飛ぶのもこの時期で、止まっている姿は誰もが覚えられる黒白とV字模様、飛ぶときこの白がちらちらと見えます。ホタルです。



ハナショウブ

どことも、花菖蒲が咲いていて見頃です。ロクハ公園にしっかりと植えられてはいませんが、いっそうあでやかに見えます。



6/3



6/8



6/11

6/14

栗の花 秋・クリになる雌花

真ん中の白いものは雌花の柱頭のようなものでここに花粉が付くことで実ができます。栗のイガの中に三つできるのです。さてイガですが、この緑いろの部分成長しながらトゲトゲのイガになっていきます。6/11のものは6/3に比べ緑色の部品が細く変化しているのがわかります。右の写真はちがう花ですがより針状になっています。



上 エゴノキの実 下 エゴノキの虫こぶ

エゴノキはいっぱい花をつけて今たくさん実ができて始めています。この実はサポニンが多く石鹸や魚の材料に。下の写真は花が実かと悩んでしまいましたが実際はエゴノキの組織に寄生している虫の住みかです。結実するように成長していきます。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

もうすぐ梅雨入り？ 関東では梅雨入りが発表されたが、西のほうはまだ。この日は気持ちのいいお天気。日差しはきついが長袖をとおしていいぐらい。空がきれいに見えた。



プロムナード 駐車場より入り口に入り中央花壇を望む イチョウ並木とレイズベットの並びがきれい メタセコイア並木 平和の鐘から中央花壇を望むメタセコイアの緑の壁

シモツケに虫

シモツケの花は今満開をむかえ虫たちがたくさん集まっています。満開の花を目当てに来る虫をあげました。産卵に来る虫と葉っぱを食べる虫、それらを捕食するむしもあります。



キムネクマバチ



モンシロチョウ



ハチの仲間



コアオハナムグリ



アオハナムグリ



クロハナムグリ



ササゴイ



上 モンキアゲハの幼虫。カラスザンショウの葉っぱを食べて大きくなります。アゲハの幼虫の多くは糞に擬態しています。種類によってそのフンの様子も違います

左 ササゴイ ひさしぶりの鳥の初登場
鹿を思い起こさせるような声は、移動を開始する時によく発するみたいです。翼の紺色の中の翅が笹のように見えるゴイスギの仲間。



ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 www.facebook.com/rokuhafamily ロクハ公園HP www.park-698.net/ ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

まもなく梅雨入り

雨の中の観察スタート、雨具と長靴で歩き出しました。真ん中ぐらいで雨はやみ、帰る時には時には、夏を感じさせる空、プールサイドのヤシの木が南国を演出。後悔のカッパと雨具。



あまつぶでコーティングされたシモツク。細かい雨粒のしわざ 細かい雨粒がクモの巣をドレスアップ。こんな日に虫は来るのか プール内の広場にはヤシの木が、まもなく歓喜の声が。今年こそ、
 いろんな虫が集まるシモツクの花。地味な花という表現が多いのですが私はあでやかな花と感じています。葉っぱに花に集まってくる虫も興味津々。

5/30



ソウムらしいソウムシ

オジロアシナガソウムシ 鼻もしっかり長くて足も太い、のっしのっしと歩く感じがします。脚の仕組みがおもしろい。

水浴びする鳥たち

ジャブジャブ小川に水があると色々な生きものが集まります。野鳥の目的は水浴び、すみずみまでぶるぶる。



クロタマムシ 顔でタマムシだとわかるが



ヒメスナゴミムシタマムシという名前

エントツドロバチ エントツができると作業が始まる合図



雨がやみ、日が照るともくもく霧が出てきてびっくり